

# Cisco Meeting Server、Web アプリ、Meeting Management

---

# Contents

- 製品概要..... 3
- 優れた機能..... 3
- プラットフォームのサポート..... 6
- 製品仕様..... 7
- 発注情報..... 10
- Cisco Capital ..... 12

## 製品概要

Cisco® Meeting Server は、スケーラブルで安全なオンプレミス会議ソリューションです。そのデフォルトエクスペリエンスは Cisco Webex® に合わせて調整されており、ビデオ、音声、および Web コミュニケーションをカスタマイズして、あらゆる顧客の特定のコラボレーションニーズを満たすことができます。

Cisco Meeting Server Web アプリケーションを使用すると、サポートされているブラウザから簡単に会議を作成、参加、および実行できます。WebRTCに対応したブラウザを使えば、アプリケーションをダウンロードすることなく、リンクをクリックするだけですぐに会議に参加することができます。会議に参加すると、Web アプリケーションは、名簿リストと会議中のコントロールを使用して完全な会議エクスペリエンスを提供します。Web アプリケーションは、会議スペースを作成するためのユーザのポータルでもあり、ユーザはこれを変更して（たとえば、スペースの名前を変更、PIN を追加、など）、会議参加情報を共有できます。

Cisco Meeting Management は、Cisco Meeting Server の必須コンポーネントです。Cisco Smart ライセンスに接続して、ライセンスの購入、登録、およびモニタリングを簡素化します。さらに、管理者は、ユーザ用の会議テンプレートのプロビジョニングができ、またオペレータが Cisco Meeting Server で会議をモニタおよび管理できるようにすることができます。管理者は、アクティブな会議すべてを簡単にモニタし、制御できます（参加者の追加、退室、またはミュート、レイアウトの変更、録画またはストリーミングの開始/停止など）。

## 優れた機能

### 高い拡張性で地理的な分散にも対応

会議は簡単に拡張できます。

- クラスタごとに最大 24 台の Call Bridge を導入して、スケール（最大 21,000 の同時 HD コール）、レジリエンス、および複数の地理的ポイントを提供できます。8 台以上のサーバを必要とする設計では、シスコエンジニアリングによるレビューが必要です。Call Bridge はさまざまなハードウェアプラットフォームで展開できるため、お客様は必要に応じて拡張できます。次のようなモデルが用意されています。
  - Cisco Meeting Server 1000 M6 は、エントリレベルの導入向けの低コストの仮想化 Cisco UCS® サーバで、最大 160 個の HD ポートをサポートします。
  - Cisco Meeting Server 2000 M6 は、業界で最大容量のシングルサーバであり、最大 1296 の HD ポートをサポートします。
  - 仕様ベースのサーバ。物理コアあたり最大 2.5 HD ポートをサポート（詳細は [cisco.com](https://www.cisco.com) 参照）
- クラスタを Call Bridge グループに分割して、プロキシミティに基づいてロードバランシングとリソース割り当てを最適化できます。
- Call Bridge クラスタは、1 秒あたり最大 40 のコールをサポートします（これには、コールの参加者と、ロードバランシング、参加者の移動などに必要な内部コールが含まれます）。
- 1 つのコールブリッジでのミーティングでは、1 つのクラスタ内の複数のコールブリッジで最大 450 名の参加者または最大 2,600 名の参加者をサポートします。
  - 会議が複数の Call Bridge インスタンスにまたがる場合、Call Bridge インスタンス間でインテリジェントな配信リンクが自動的に維持され、すべての参加者にシームレスな単一の会議エクスペリエンスを提供します。
  - 物理サーバの機能を超えてアーカイブまたは拡張する必要がある場合に会議の記録とストリーミングがサポートされます。

- **24** ノードのクラスタで最大 **30** 万人の **LDAP** ユーザーと最大 **50** 万スペースの同期が可能です。(ユーザー数、スペース数は導入するサーバーのスペックによりますので、詳細は展開ガイドをご参照ください)
- **Cisco Meeting Server Web** アプリは、**Session Initiation Protocol (SIP)** ビデオコールと同じ制限にスケールリングされます。
  - **WebRTC** を介した音声は **24,000** コールに制限されます
  - **Cisco Meeting Server** エッジは、外部 **HD WebRTC** コールに対して最大 **SIP** キャパシティをサポートできます。**Cisco Expressway™** クラスタは最大 **800** の外部 **HD WebRTC** コールをサポートします。
- **Cisco Meeting Management** は、週に最大 **10,000** 件の会議をサポートします。
  - **24** のコールブリッジのクラスタは、ライセンスのみモードでサポートされます。
  - **Cisco Meeting Management** の小規模なインスタンスは、1 秒あたり最大 **10** のコールレグ (ピーク使用率) および **15** の同時ユーザ (オペレータ) をサポートします。
  - **Cisco Meeting Management** の大規模なインスタンスは、1 秒あたり最大 **20** のコールレグ (ピーク時の使用) と **25** の同時ユーザ (オペレータ) をサポートします。

### ユーザーエクスペリエンス

デフォルトのミーティングエクスペリエンスは **Webex** に合わせて調整され、シスコのコラボレーションエンドポイント向けに最適化されているため、エンドユーザはテクノロジーの仕組みを気にすることなく、コラボレーションに集中できます。さらに、特定のユースケースに合わせて会議を完全にカスタマイズできます。

- 特定の会議設定/エクスペリエンス、参加者の権限などをすべて事前に設定できます
- 画面に表示される参加者と表示される場所は、重要度レベルまたはペインの配置によって制御できます。
- 独自のカスタムレイアウトを作成して使用する機能は、別のライセンス経由でも利用できます。

**Cisco Meeting Server** は、**Cisco Webex Room**、**Board**、**Panorama** およびデスク エンドポイントと **Cisco Jabber®** ので動作するように最適化されています。これらのデバイスはすべて、会議のエクスペリエンスを向上させるために、名簿リストと会議中の制御を取得します。特定のエンドポイントでは、単一スクリーン、デュアルスクリーン、およびパノラマのレイアウトによってシスコ独自のエクスペリエンスも実現できます。

ほとんどのソフトクライアントとは異なり、**Cisco Meeting Server Web** アプリケーションは固定の縦横比 **16:9** に制限されません。使用可能なウィンドウサイズにレイアウトを最適化します。簡単な例として、デバイスが縦向きまたは横向きの場合に異なるレイアウトが利用できます。ユーザがウィンドウサイズまたは縦横比を変更すると、**Web** アプリケーションはレイアウトを最適化して (表示される参加者の数と場所を変更し)、参加者を最適に表示し、無駄なスペースを最小限に抑えます。

**Web** アプリケーションでは、ビデオとは別のウィンドウにコンテンツを表示することもできます。これにより、ユーザは画面の使用方法をより細かく制御できるようになり、一方の画面にビデオを、もう一方の画面にコンテンツを表示するデュアルスクリーンエクスペリエンスを実現できます。

## 会議の管理

Cisco Meeting Management にはアクティブな会議の情報が表示され、Cisco Meeting Server 導入環境を管理できます。基盤となるビデオブリッジ設定や通話セットアップといった複雑な作業についてオペレータが理解する必要はありません。さらに、ライセンスの使用状況をレポートし、管理者は会議テンプレートをプロビジョニングして、エンドユーザによるスペースの作成を簡素化できます。サポートされる機能は、次のとおりです。

- アクティブなミーティングと予定されているミーティングを Cisco Meeting Server クラスタ全体で 24 時間リストする機能、および並べ替え、フィルタ処理、および検索機能
- アクティブな会議の参加者をリストする機能
  - 会議で誰が話しているかの確認
  - 参加者のソート、フィルタリング、検索
  - 個人、全員、または選択したメンバーや新しい参加者のグループの、音声のミュートとミュート解除
  - ビデオのミュートとミュート解除
  - 重要な参加者の指定
  - レイアウトの変更（会議全体または個別）
  - 指定した参加者が画面に表示される場所を構成（標準レイアウトとカスタムレイアウトの両方で）
  - 参加者の追加または退室
  - 通話統計の表示（音声、ビデオ、またはプレゼンテーション）
  - 会議の録画またはストリーミングのセッションの開始
  - 会議間での参加者の移動
  - 参加者をロビーに移動する
  - スナップショットの作成
- ライセンス使用状況のダッシュボードの表示
- 会議テンプレートをプロビジョニングできるユーザーの LDAP インポートと毎日の同期
- ブラストダイヤル会議の設定
- 7 日間保持される、会議イベントログ

## シンプルで予測可能なオールインワンの販売モデル

このライセンスには次のような特長があり、ユーザはすぐに使用を開始できます。

- 顧客は、ミーティングポートフォリオ全体（クラウド、ハイブリッド、またはオンプレミス）に資格を付与するサブスクリプションライセンスを購入できます。または、オンプレミスソリューションの永久ライセンスも利用できます。
- 1 つのライセンスに、スペース（仮想会議室環境）、Cisco Meeting Server Web アプリ、Cisco Meeting Management、スケジューリング、ファイアウォールトラバースが含まれ、Microsoft Skype for Business との相互運用性も備えています。
- サポートされている最新のライセンスモードについては、Cisco Meeting Management のリリースノートを参照してください。

## プラットフォームのサポート

Cisco Meeting Server ソフトウェアは、Cisco Meeting Server 1000 および 2000 アプライアンスを実行するプラットフォームとして最適化されています。拡張性の面では、表 1 に、各サーバで Cisco Meeting Server のコールブリッジが 1 つのサーバでサポートできるキャパシティを示しています。2.5Mbps、720p コンテンツと音声の G.711 までのコールレートを想定しており、その他のコーデックやより高いコンテンツ解像度/フレームレートによりキャパシティが減ります（詳細については、[インストレーションガイド](#)を参照してください）。会議が複数の Call Bridge にまたがる場合は、分散リンクが自動的に作成され、サーバのコール数と容量に対してもカウントされます。

Cisco Meeting Server の主な利点の 1 つは、柔軟な拡張性にあります。表 3 では各種シナリオでの実現可能なキャパシティを示していますが、既存の参加者のエクスペリエンスを段階的に変えて、会議参加者を増やす設定を個々のサーバに行うこともできます。また、大規模な展開では、会議のロードバランシングを行い、実効容量を最大化できます。

表 1. サポート対象サーバでの Call Bridge

コールのタイプ	Cisco Meeting Server 1000 M6*	Cisco Meeting Server 2000 M6**
フル HD コール 1080p60 ビデオ	40	324
フル HD コール 1080p30 ビデオ	80	648
HD コール 720p30 ビデオ	160	1296
SD コール 448p30 ビデオ	320	1875
音声通話 (G.711)	3,000	3200

\* Cisco Meeting Server 1000 M6 は、事前設定済みの Cisco UCS C220 M6 ラック サーバーです。詳細な仕様は、<https://www.cisco.com/c/en/us/products/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/ucs-c220-m6-rack-server-ds.html> にアクセスしてください。Cisco Meeting Server 1000 の場合、Cisco Meeting Server は VMware 上で実行されるため、VMware ライセンスが別途必要です。これは、VMware から直接購入してください。

\*\* Cisco Meeting Server 2000 M6 は、8 台の Cisco UCS B200 M6 ブレードサーバーを搭載した Cisco UCS 5108 ブレードサーバシャーシです。詳細な仕様については、[https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-5100-series-blade-server-chassis/data\\_sheet\\_c78-526830.html](https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-5100-series-blade-server-chassis/data_sheet_c78-526830.html) および <https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-b-series-blade-servers/datasheet-c78-2368888.html> を参照してください。Cisco Meeting Server 2000 M6 の場合、Cisco Meeting Server はサーバ上で直接実行されるため、VMware は必要ありません。

仕様ベースのサーバでの Cisco Meeting Server の要件については、<https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/conferencing/ciscoMeetingServer/Installation/virtualization-cisco-meeting-server.html> を参照してください。

仕様ベースのサーバの Cisco Meeting Management の要件については、次を参照してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/conferencing/Cisco-Meeting-Management/Installation/virtualization-cisco-meeting-management.html>

## 製品仕様

表 2 に Cisco Meeting Server の仕様を示します。

表 2. 仕様

ビデオ規格	<ul style="list-style-type: none"><li>• H.261</li><li>• H.263 (+, ++)</li><li>• H.264 AVC (ベースラインおよびハイ プロファイル)</li><li>• H.264 SVC</li><li>• AV1 (Web アプリ画面共有用)</li><li>• WebM、VP8</li><li>• Microsoft RTV</li><li>• HTML5/WebRTC</li><li>• SIP、H.323、TIP</li><li>• BFCP</li><li>• RDP</li><li>• Far End Camera Control (FECC; 遠端カメラ制御) パススルー</li><li>• RTMP および RTMPS</li></ul>
音声規格	<ul style="list-style-type: none"><li>• AAC-LD</li><li>• Speex</li><li>• Opus</li><li>• G.722、G.722.1、G.722.1c、G.728、G.729a、G.711a/u</li><li>• オートゲインコントロール (AGC)</li></ul>
帯域幅	<ul style="list-style-type: none"><li>• 最大 6000 kbps</li></ul>
解像度およびフレームレート	<ul style="list-style-type: none"><li>• メイン ビデオは最大 1080p/60 fps、コンテンツは最大 1080p30/4K 7</li><li>• 録画 (録音) は、音声、720p30 または 1080p30 の間で設定可能</li><li>• ストリーミングは 720p30 ~ 1080p30 の間で設定可能</li></ul>
管理	<ul style="list-style-type: none"><li>• サーバ管理</li><li>• LDAP ベースの構成用スクリプト言語</li><li>• 資産、モニタリング、診断用の Representational State Transfer (REST) API</li><li>• 監査用の通話詳細レコード (CDR) ストリーミング</li><li>• 診断用の syslog</li><li>• マルチテナント サポート</li><li>• 簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP)</li><li>• バックアップと復元</li></ul>
アカウント管理および権限	<ul style="list-style-type: none"><li>• Microsoft Active Directory (AD) または Open Lightweight Directory Access Protocol (OpenLDAP) との統合により、ロールベースの権限をサポート</li><li>• 企業ディレクトリとの毎日の同期により、ユーザアカウントの自動作成および自動メンテナンスを実現。</li></ul>

- 
- Cisco Meeting Server Web アプリにログオンしているユーザーの SAML2 を介したシングルサインオン (SSO)

<b>セキュリティおよび監査</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● IP メディア（ビデオおよび音声）は <b>Advanced Encryption Standard（AES）</b> で暗号化（業界標準の <b>Secure Real-Time Transport Protocol（SRTP）</b>）</li> <li>● すべての制御データを認証および暗号化（業界標準の <b>TLS</b> と <b>Secure Sockets Layer（SSL）</b>）</li> <li>● ドメイン ネーム システム セキュリティ拡張（<b>DNSSEC</b>）</li> <li>● スペース用のセキュリティ コードまたは <b>PIN</b> オプション</li> <li>● 音声のみの参加者および暗号化ステータスの画面表示</li> <li>● 現場での業界標準の強力な暗号化による通信の保護</li> <li>● <b>JITC</b> 認定</li> <li>● <b>FIPS-140-2</b></li> <li>● <b>Network Time Protocol（NTP）</b> 認証キーのサポート</li> <li>● システム変更をモニタする統合アプリケーション監査ロギングをサポート</li> </ul>
<b>診断とトラブルシューティング</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>Syslog</b>：ローカル/リモート。</li> <li>● クラッシュログ</li> <li>● ログ バンドル <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ システム ログ</li> <li>◦ 監査ログ</li> <li>◦ システム設定</li> <li>◦ アプリケーション設定</li> <li>◦ システムの情報</li> </ul> </li> <li>● 設定のバックアップと復元</li> </ul>
<b>高可用性</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>Cisco Meeting Management</b> ではアクティブ-アクティブの高可用性モデルがサポートされています。</li> <li>● <b>Cisco Meeting Management</b> の各ノードでは、<b>Meeting Server</b> クラスタで開催中の会議について、独自のビューが作成されます。そのため複数の <b>Meeting Management</b> ノード間で情報が共有されません。</li> </ul>
<b>Cisco Meeting Management クライアントの要件</b>	<p>ブラウザで次のテクノロジーがサポートされ、有効になっている必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>WebSocket</b></li> <li>● <b>HTML5</b></li> <li>● <b>JavaScript</b></li> </ul> <p><b>Cisco Meeting Management</b> は、次のブラウザの最新バージョンでテストされています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>Mozilla Firefox</b></li> <li>● <b>Microsoft Edge</b></li> <li>● <b>Google Chrome</b></li> <li>● <b>Safari</b></li> </ul>
<b>Cisco Meeting Server Web アプリ端末の互換性</b>	<p>WebRTC 対応ブラウザ（<b>Chrome</b>、<b>Firefox</b>、<b>Safari</b>、<b>Edge</b>、および <b>Yandex</b>）を介した <b>Windows</b>、<b>Mac OS X</b>、<b>Apple iOS</b>、および <b>Android</b>。サポートされているオペレーティング システムおよびブラウザ バージョンについては、<b>Cisco Meeting Server Web</b> アプリケーションのリリース ノートを参照してください。</p>

## 発注情報

Cisco Meeting Server 発注のための 4 つの主な手順を以下に示します。詳細については、<https://www.cisco.com/c/en/us/products/conferencing/meeting-server/sales-resources-listing.html> の発注ガイドを参照してください。

1. お客様が選んだプラットフォームを選択します。Cisco Meeting Server ソフトウェアは、Cisco Meeting Server 1000 および 2000 アプライアンスを実行するプラットフォームとして最適化されています。サードパーティのサーバもサポートされています。
2. Cisco Meeting Server 1000 またはサードパーティのサービスには、VMWare 仮想化が必要です。サブスクリプション情報については、VMware に直接お問い合わせください。
3. 柔軟な容量ライセンス オプションによって、お客様のニーズに合わせて Cisco Meeting Server の機能を導入できます。Cisco Meeting Server は、Cisco Multiparty ライセンスによって会議ごとにライセンスが付与されます。これらのライセンスは、Personal Multiparty (ネームドホスト) ライセンスと Shared Multiparty (共有ホスト) ライセンスという形で利用できます。詳細については、<https://cisco.com/go/meetingserver> を参照してください。
4. Cisco Meeting Server は、Cisco Software Support Services (SWSS) がバンドルされた、月次または年次課金による A-CMS トップレベル SKUを使用したサブスクリプションで利用できます。
5. 録画やストリーミングなどのオプションを追加することもできます。組織内で録画やストリームを管理、変換、または配布する必要がある場合は、弊社のソリューションパートナー、VBrick から Rev や DME などのソリューションを入手できます。サブスクリプション情報については、VBrick に直接お問い合わせください。
6. Cisco Multiparty ライセンスには、ミーティングの主権、Cisco Jabber を Cisco Meeting Server および Cisco Meeting Server Web アプリとの接続、および Cisco Meeting Management の権限が含まれます。これらの製品のソフトウェアは、アクティブなシスコサポート契約で <https://www.cisco.com/go/software> からダウンロードできます。
7. Meeting Server の構成とレポート、およびミーティングのスケジューリングを含むデバイス管理には、Solutions Plus パートナーの VQ Communications Conference Manager を推奨します

表 3 に、Cisco Meeting Server の発注情報を示します。

表 3. 発注情報

プラットフォーム (ステップ 1)	説明
CTI-CMS-1K-M6-K9	Cisco Meeting Server 1000 M6
CTI-CMS-2K-M6-K9	Cisco Meeting Server 2000 M6
R-CMS-K9	サードパーティ製サーバーまたは CMS 1K の Call Bridge アクティベーション キー (スマートライセンスを使用していない場合のみ)
R-CMS-2K-K9	CMS 2K の Call Bridge アクティベーション キー (スマートライセンスを使用していない場合のみ)

ライセンスのサブスクリプション (ステップ 2)	説明
<b>A-CMS (トップ レベル SKU)</b>	年間、毎月、または前払いで、1 ~ 5 年の期間の会議用 Cisco Meeting Server サブスクリプションプラン。サブスクリプションにはソフトウェア サポートサービスが含まれます
<b>A-CMS-EA-EC</b>	企業内のすべてのナレッジ ワーカーに対するホストごとのエンタープライズ アグリーメント。無制限のミーティングには、録画、ストリーミング、および Cisco Expressway リッチ メディア サービスが含まれます。
<b>A-CMS-PMP</b>	ホストごとのパーソナル マルチパーティ ミーティング (スケジューリングサービス用の TMS および Expressway リッチメディアサービスを含む)
<b>A-CMS-SMP</b>	Shared Multiparty (同時会議) には Expressway リッチメディアサービスが含まれます

オプション (ステップ 3)	説明
サブスクリプションオプション	
<b>A-CMS-CUSTOM</b>	カスタムレイアウトを作成して使用する機能を追加
<b>A-CMS-RECORDING</b>	ポートごとのサブスクリプションベースで録画またはストリーミングを追加
<b>A-CMS-JABBER*</b>	必要に応じて、Jabber for Cisco Meeting Server を会議サブスクリプションに追加
<b>A-CMS-JABBER-ADDON</b>	必要に応じて、現在のサポート契約で既存の Cisco Meeting Server のお客様に Jabber for Cisco Meeting Server を追加
<b>A-CMS-SNAPSHOT</b>	スナップショットを取得する機能を追加する

サードパーティ製プラットフォームもサポートされています。その場合、スマートライセンスを使用していない場合のみ、Cisco Meeting Server ソフトウェア アクティベーション キーを別個に発注する必要があります (R-CMS-K9)。

\* Cisco Jabber for Cisco Meeting Server は Meeting Server ライセンスに含まれており、会議へのコールが可能です。Cisco Unified Communications Manager 12.5 以上が必要です。ポイントツーポイント、アドホック エスカレーション、または IM&P サービスには、Cisco Unified Communications Manager (UCM) Calling サブスクリプションが必要です。

表 4 に、会議に参加できる参加者数をライセンス タイプごとに示します。

表 4. ライセンス タイプごとの会議のキャパシティ

コールのタイプ	Shared Multiparty ライセンスごとの参加者数	Personal Multiparty ライセンスごとの参加者数	Cisco Meeting Server のキャパシティ単位ごとの参加者数
フル HD 通話 (1080p60)	制限なし	制限なし	0.25
フル HD 通話 (1080p30)	制限なし	制限なし	0.5
HD 通話 (720p30)	制限なし	制限なし	1
SD 通話 (448p30)	制限なし	制限なし	2
音声通話	SMP ごとに 6 つの音声のみの会議、会議あたりの参加制限なし (コンテンツは許可されません)	制限なし	12
Microsoft ゲートウェイ コール	SMP+ ライセンスごとに 6 つのゲートウェイ コール	1	解像度に依存 (標準コールと同じ)

ライセンスには参加者数の制限はありませんが、会議ごとまたはサーバごとの参加者数を制限するハードウェアまたはソフトウェアの制限がある場合があります。

## Cisco Capital

### 目的達成に役立つ柔軟な支払いソリューション

Cisco Capital® ファイナンスでは、お客様が目標の達成、ビジネス変換の実現、競争力の維持に合ったテクノロジーを簡単に導入できるよう支援します。総所有コスト (TCO) の削減、資金の節約、成長の促進に役立ちます。100 カ国あまりの国々では、ハードウェア、ソフトウェア、サービス、および他社製製品を購入するのに、シスコの柔軟な支払いソリューションを利用して、簡単かつ計画的に支払うことができます。詳細は [こちら](#) をご覧ください。

**米国本社**  
Cisco Systems, Inc.  
カリフォルニア州サンノゼ

**アジア太平洋本社**  
Cisco Systems (USA), Pte. Ltd.  
シンガポール

**ヨーロッパ本社**  
Cisco Systems International BV  
Amsterdam, The Netherlands

2023 年 11 月発行

© 2023 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

Cisco および Cisco ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。シスコの商標の一覧については、[www.cisco.com/go/trademarks](http://www.cisco.com/go/trademarks) をご覧ください。記載されているサードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。「パートナー」または「partner」という言葉が使用されていても、シスコと他社の間にパートナーシップ関係が存在することを意味するものではありません。1175152207 10/23

